

# 進路だより

第3号  
平成31年3月20日  
編集発行  
いわき光洋高校  
進路指導部

## 入試状況の分析から

進路指導主事 遠藤 明緒

先だって16生が新たな希望を胸に、通い慣れた学舎を巣立っていきました。16生の進路状況を進路先別に振り返ってみたいと思います。

四年制大学の合格者は現在までのところ延べ158名。そのうち国公立大学は14名です。合格した入試区分はAO入試が16名、指定校推薦が26名、公募

推薦が30名。特筆すべきは本校初の宮城大学AO入試合格者2名が出たことです。宮城大学のAO入試は、面接の他、グループディスカッションや口頭

試験などが課されます。文部科学省の新学習指導要領では、単なる知識だけでなく、自分で課題を発見し、それを他者と協働して解決する力が求め

られており、今後はそうした新しい学力観に基づく形の推薦入試が増えていくことが予想されます。参加型の授業や総合学習

公募推薦入試の結果からは、早い段階での進路決定の重要さがわかります。特に理系は自分の研究したいものを具体的に持つていることが重要で、秋田大、山形大、福

島大、会津大等に合格した生徒において顕著です。また、推薦入試とはいえ、茨城大・県立医大等では確かな学力の有無が可否を分けたようです。

次に私立大学に目を移します。首都圏の私立大学では、文部科学省による定員厳格化の影響で例年より大変厳しい結果となつていきます。そうした中でも、駒澤大、帝京大、亜細亜大、産業能率大、神奈川大といった大学への合格が目を見えます。

今年度特に注目すべきは、額の大きな奨学金を獲得した生徒が多い点です。新たに創設されたハニーズ財団奨学金では、返還義務のない奨学金4年間分に1名、1年間分に3名が採用となりました。目的意識の高さや学力を含む高校生活の状況などが推薦条件となりました。各大学や短大も独自の奨学金を制定しています。年々レベルが上がつて

帝京短大で授業料全額免除、石巻専修大やいわき短大で授業料半額免除の奨学金を獲得しています。が、いずれも学力と高い意欲が評価されました。もう一つの大きな特徴としては、英検などの資格試験を重視する大学が増加傾向にあるということです。茨城大・福島大の農学部や神奈川大では英検が推薦要件となつていました。また、英検二級を取得したことを生かして有利な条件で東京国際大に入學した生徒もいます。英検を一定の点数に換算し、当日の試験は免除するという大学も増加傾向にあります。

公立大学に目を移します。首都圏の公立大学では、文部科学省による定員厳格化の影響で例年より大変厳しい結果となつていきます。そうした中でも、駒澤大、帝京大、亜細亜大、産業能率大、神奈川大といった大学への合格が目を見えます。

今年度特に注目すべきは、額の大きな奨学金を獲得した生徒が多い点です。新たに創設されたハニーズ財団奨学金では、返還義務のない奨学金4年間分に1名、1年間分に3名が採用となりました。目的意識の高さや学力を含む高校生活の状況などが推薦条件となりました。各大学や短大も独自の奨学金を制定しています。年々レベルが上がつて

公立大学に目を移します。首都圏の公立大学では、文部科学省による定員厳格化の影響で例年より大変厳しい結果となつていきます。そうした中でも、駒澤大、帝京大、亜細亜大、産業能率大、神奈川大といった大学への合格が目を見えます。

公立大学に目を移します。首都圏の公立大学では、文部科学省による定員厳格化の影響で例年より大変厳しい結果となつていきます。そうした中でも、駒澤大、帝京大、亜細亜大、産業能率大、神奈川大といった大学への合格が目を見えます。

## 16生進路状況 (3月13日現在)

四年制大学	158
AO入試	16
指定校推薦	26
公募推薦	30
短期大学	13
専門学校	46
就職・公務員	9

### <国公立大学>

秋田大学	1
山形大学	1
福島大学	2
茨城大学	3
宮城大学	2
福島県立医科大学	1
会津大学	3
東京諏訪理科大学	1

ている医療創生大学の薬学部では授業料の半額を、医療保健学部では全額または半額等の奨学金を3人が手にしています。これらは高い学力が評価されたものです。また、東京福祉大や東日本国際大、

公務員を含む就職者は9名。公務員は早期からの準備が成否を分けました。就職は、部活動での体験や学校生活の様子が

重要となりました。三年間での欠席日数が少ないことは確実に必要な条件です。

の皆さんです。いずれの進路を選ぶにせよ早いスタートが鍵となります。がんばってください。

## 目標を明確に！ 三年度主任 高木光子

平成最後の卒業式を終え、一六生もそれぞれの道に新たな一歩を踏み出していきました。残念ながらすべての生徒が描いた夢を叶えることはできませんでしたが、巷で言われているように首都圏私立大の定員厳格化で、一六生も苦戦を強いられました。センター自己採点の結果で判定が出ていても不合格という生徒もいました。次年度以降もこの流れは継続していくことが予想されます。確実に合格を勝ち取るためには、志望校を早く決めてAO入試や公募推薦から挑戦していくことも考えたほうがいいでしょう。そのためには評定平均を意識するだけでなく、小論文対策も必要になります。上手な文章を書く(アウトプット)トレーニングの前に、読書量を増やしたりニュースを見たりと知識を増やしておくこと(インプット)が重要です。「日々の課題」でいろいろなトピックに触れることができていますから、その中で興味を持ったことについてさらに詳しく調べてみてください。読書量を増やせば国語の成績向上にもつながるでしょう。知的好奇心を満たす喜びを知られば他教科の勉強にもより集中できるようになります。また一六生は英語で苦勞した生徒が多くいました。三年夏までに英検二級を取得しておけば、余裕をもって受験に取り組めたはずですが、今できること、今やらなくてはならないことを、後回しにしないで実行してください。高校三年間はあっという間に終わってしまいますよ。

# 体も心も受験生に ～只管打坐～

二年次主任 志賀久敏

# Let's think !

一年次主任 高橋利江

いよいよ三年生が目前に。最高学年としての自覚と責任ある行動はもちろん、受験生として希望進路を実現する学年だ。家族はもとより周囲の人々の期待は計り知れないものがある。皆さんは、まさに「希望の星」であり「マイドリーム」である。

現代を生きる君たちだからこそ、グローバル社会に対応した実力を身につけて、人類の平和と発展に寄与し、世界に羽ばたくビジネスリーダーとなって活躍してほしい。「成功とは成功するまでやり続けることで、失敗とは成功するまでに諦めてしまうことだ」(松下幸之助)。自ら限界を設けず、更に高みを目指し、ただ地道に努力を重ね、前に進み続けければ夢は実現できる。つまり、「継続は力なり」。一度や二度の失敗で挫けたり、弱気になったりしていたのでは、この先の希望は成し遂げられない。

さて、「受験は団体戦」である。クラス内に受験の雰囲気があれば、やはり「やる気」は出ない。「本気」になれない。逆に、クラスの中が「やる気」にあふれていれば、モチベーションも上がり、「本気」になる。一致団結だ！

最後に、努力が実るとは限らない。しかし、成功した人は必ず努力をしているのだ。ほかの受験生に遅れを取らないためにも、体も心も受験生に成りきれ！自らの可能性を信じて夢をあきらめぬな！地道な努力を日々積み重ねる！合格に向けて只管打坐してみろ！

小さなスマートフォンの中に世界中の情報が詰められ、ものすごい速度で過ぎ去っていく今日、それはあまりにも安易に手に入ります。その安易さに身を委ね、そのスピードに流され、その新しさにあおられていませんか。さらに地域社会のネットワークが希薄になり、君たちの活動範囲は、家庭や学校の極々狭い人間関係の中だけに限定されています。便利さや居心地の良さと引き換えに、人間らしい思考が奪われていくことに危機感を覚えます。

それに抗うには、「自分のテリトリーを超えて自らに負荷をかけること」です。平和な光洋高校のスクールライフや、何も言わなくても気持ち推し測ってくれる温かい家族の中ではなかなか生まれられないその状況を、どうやって作り出すか。それは、学校や家の外に目を向け、知らない環境に飛び込んで慣れない人と接してやることから始まります。少しの勇気や緊張が必要です。失敗するかもしれないし、しかし「失敗を明日の活力にできているか。」という某ドラマの名ゼリフのとおり、その失敗をしたときは叱られて悔しくて泣いたり、傷ついて心が痛かったり、顔が真っ赤になるほど恥ずかしくなったりしますが、そういう経験の上こそ、意思を持つ人間らしい自分ができるのです。

自分の頭で考え、自分と向き合おう。そして一步を踏み出そう。高校生活の1/3が終わりますよ。

## 大学入試が変わります

皆さんもすでに知っている通り、従来の大学入試センター試験は次回で最後となり、18生からは「大学入学共通テスト」を受験することになります。平成30年11月には二回目の試行調査(プレテスト)が行われ、八万人を超える全国の高校生が参加しました。二回の試行調査を終えてわかってきたことを簡潔にまとめてみます。

試験が活用されますが、<sup>2023</sup>年度までは共通テストとして実施する試験も用意され、各大学はいずれか、または双方を利用します。初回共通テストで活用される24の資格・検定試験はすでに決定していて、3年次の4月～12月の間に受検した2回までの資格・検定試験の結果が大学に提供されます。

資料を読み解き、必要な情報を組み合わせ、思考する問題など、従来のセンター試験と比較すると自分で考える分量が増加しています。暗記力よりも思考力が試されるとも言えるかもしれませぬ。しかし、何より大切なことは新形式にとらわれず、基本となる知識・技能を確実に習得していくことです。日々の授業や課題に主体的に取り組み、地道な努力を怠らなないようにすることで、どんな形式にも対応できる力を積み重ねていきましょう。

### 傾向と対策

提示された文章や

### 記述式の導入

- ・国語、数学に記述式問題を導入(3問)

### 試験時間の変更

- ・国語が80分から100分に
- ・数学ⅠAが60分から70分に

### 資格試験の活用

英語は4技能(読む・聞く・話す・書く)が評価されるため民間の資格・検定

### 【年度末・年度初の進路関連行事】

- 3月22日(金)～26日(火) 春季課外
- 3月22日(金)～24日(日) 17生学習合宿
- 4月 8日(月) 始業式(午前)・入学式(午後)
- 4月 9日(火) 課題テスト(全学年)
- 4月10日(水)～11日(木) スタートアップセミナー(19生)
- 4月12日(金) 進路オリエンテーション(19生)
- 4月13日(土) 進研総合学力記述模試(17生)